

「ヒッサル市ヒッサル地区ブルブルチャシュマ村診療所建設および医療機材整備計画」 引渡し式

6月16日、相木大使は、首都ドゥシャンベ市の西約40kmに位置するヒッサル市ヒッサル地区ブルブルチャシュマ村を訪問し、「草の根・人間の安全保障無償資金協力」（供与額：124,748米ドル）で実施された、同村診療所建設および医療機材整備プロジェクトの引渡し式に出席しました。

相木大使は引渡し式の挨拶で、保健・医療分野は、日・タジキスタン二国間協力において特に重要な分野であり、今回のプロジェクトにおいて、診療所が建設され、医療機材が整備されたことで、地域住民の方々が安心して生活できるようになることを願う旨述べました。これに対して、コシム・ロフバールヒッサル市長からは、日本政府及び日本国民からの支援に対して謝意が表明されました。

タジキスタンでは、1996年から今日まで、草の根・人間の安全保障無償資金協力として合計453件、総額約3,740万ドルに上るプロジェクトが実施されています。

